



## 『子ども心の声を聴く』

：子どもアドボカシー入門』

堀正嗣 岩波書店／岩波ブックレット

本館	請求記号：X/080/I95/1032	資料ID：701696783
神田分館	請求記号：X/081/I95/1032	資料ID：701687311

### 経営学部准教授 福山 文子

本書は、抑え込まれ、無視されがちな子どもの声を大きくして、おとなや社会に届けていく活動について、つまり「子どもアドボカシー」について、書かれたものです。

しかし筆者は、子どもから女性、そしてすべての人々へと視点を広げていきます。例えば、「アダルトイズム（子ども差別）」の本質が、「セクシズム（女性差別）」との構造の類似性から解き明かされます。世界経済フォーラムの「グローバル・ジェンダー・ギャップ指数」について、日本の順位の低さに加え「経済」と「政治」分野の数字が著しく低かったことに触れ、「どちらも社会における権力の源泉」と指摘します。つまり「家庭内などのプライベートな男女間の関係は、社会的な力関係の格差を反映したものである」とあり、このような女性差別の構造と、子ども差別との構造の類似性が指摘されているのです。そして「子どもだまし」という言葉や「『女、子どもは黙っている』という文化」に触れながら、私たちの社会に厳然と存在している男性の権力性に気づかせます。

一方で、生きづらさを抱える男性へのまなざしにも柔らかさを感じます。筆者は、子どもを含めたすべての人々が生きやすい社会を目指す上で、自他の権利を尊重し、傾聴と参加を大切に、差別や抑圧に抵抗してお互いにアドボケイトとして支援しあうライフスタイルを提案しています。

多くに気づくとともに、筆者のまなざしに癒されました。よかったら手に取ってみて下さい。